事例No.	3208
公表年度	R6
団体の属性	その他
団体名	集落活動センターゆすはら連絡協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

「できることから進める！」を合言葉に

出典

令和６年度優良事例表彰

総務大臣賞

高知県椪原町（ゆすはらちょう）

集落活動センターゆすはら連絡協議会

「できることから進める！」を合言葉に



高知市のひろめ市場前広場にて実施している特産品販売会「ゆすはらフェア」の様子

審査講評

評価のポイント

- 椪原町の全域をカバーして立ち上がった6つの集落活動センター同士が、切磋琢磨しながら地域づくりの機運を高め合うネットワークの場として活用されている。
- 当初は、先に設立した集落活動センターが、その経験を共有しながら後発組の立ち上げを応援し、今日では、集落活動センター間の情報交換や課題の共有・相談、合同での物産販売やイベント参加を企画し、町内の集落活動センターを繋ぐ場となっている。

審査委員のコメント

多彩な地域運営組織が集うプラットフォームを構築

椪原町では、旧村の「区」を基本に住民組織をつくる方針を打ち出し、「できることから進める」を合言葉に、町内の6つの区で、各区の文化や特徴を打ち出しながら地域運営組織（RMO）の活動が展開しています。

集落活動センターができて10年。現場からは、「センターがあって、はじめて人やものが集まる」「ここにきて話や作業ができる。生きがいを見つけて、みんな元気になった」。もしセンターがなかったら、「過疎化が進み、もっと寂しく、さびれていたかも」という声が聞かれました。

それでも人口減少や高齢化も10年進み、地域のなりわいを継業したり、移住者や地域の若者に次の担い手を探る「攻め」の一手を探るセンター、従来の事業を縮小して「守り」の形を模索するセンターなど、小さいRMOが現実と向き合いながら、町全体の今後を展望する場として連絡協議会が大きな役割を担い始めています。



取組の概要

高知県椪原町は、明治の大合併により、6つの村が統合、その後昭和41年に町制を施行した。当時の村を「区」として残し、「区長」を中心として、それぞれの文化や特性を活かした住民自治活動を進めている。

これまでの住民のつながりや取り組みから、「区」を基本として集落活動センターを設置し、地域課題の解決に向けて取り組んでいる。



各センターで実施している推進委員会で運営内容などを協議している



地域で必要な物品などを販売することで、遠方に行かなくても買い物ができる



地域の食材で特産品を開発し販売することが、地域の方々のやりがいにつながっている



農産物直販所や簡易宿泊施設など、拠点施設を整備し活動を行っている

取組のKEY PLAYER



氏原 昇佐さん
［集落活動センターゆすはら連絡協議会会長・初瀬区長］



空岡 則明さん
［元集落活動センターゆすはら連絡協議会会長・四万川区長］

地域ごとのオーダーメイドで課題解決に向けた活動を実施しています。

本町での集落活動センターの取り組みは、

①地域住民が危機感を抱き、仕組みづくりの必要性に気づく
②「絆」と「自立」を基本とし、地域住民が主体となって考え、地域課題の解決、地域の魅力を高める仕組みづくりに取り組む
③地域資源を活用しながら「できることから進める」を合言葉に

の3点を方針として、地域のために取り組んできました。

集落活動センター同士の横のつながりをつくるため、本協議会を設立し、地域の取り組みや各センターの課題などを共有し、支え合って活動しています。

地方の人口減少は顕著となっていますが、次世代を担う人材を確保しながら、地域を支える取り組みを継続していきます。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

兵頭 眞弥さん［椪原町役場まちづくり産業推進課 主事］／**西村 茂則**さん［集落活動センターゆすはら東 会長］／**上田 末喜**さん［集落活動センターおちめん 会長］／**空岡 則明**さん［集落活動センター四万川 会長］／**平脇 慶一**さん［ゆすはらジビエの里 施設長］／**松山 榮喜**さん［集落活動センターまつばら 会長］／**氏原 昇佐**さん［集落活動センターはつせ 会長］

高知県椪原町（ゆすはらちょう）

団体名……集落活動センターゆすはら連絡協議会
所在地……〒785-0610 高知県高岡郡椪原町椪原1444番地1
連絡先……TEL：0889-65-1250
E-mail：110-yusuhara@town.yusuhara.lg.jp

